

認定試験 開催要項

記

- 主催 福井県アーチェリークライミング振興協議会
- 日時 令和4年 7月16日
30m認定試験
受付 8:00~8:30
弓具検査 8:00~8:45
競技開始 9:00予定
競技終了 11:15予定
※弓具検査を行いますので受付は早めをお願いします。
- 会場 福井県立アーチェリーセンター
- ルール・種目 全日本アーチェリー連盟競技規則
1. 全弓種30m 36射×1回 2. 全弓種30m 36射×2回
※障がい者の方の参加も歓迎しておりますが看的補助員はおりません。ご了承ください。
- カテゴリ なし
- 表彰 なし
- 申込定員 先着順、認定試験総計20名以内
**※ただし、応募状況により定員が前後する場合があります。
※1標的につき3名以内による行射とします。**
- 出場資格 なし
- 参加費等 36射×1.....¥1,000 36射×2.....¥2,000
**※高校生以下は半額
※当日受付にてお支払いください。
※2回受験する申し込みをした場合に、1回で合格しても2回目分の参加費は返金できません。
※領収証は発行いたしません。必要な方は要項下部領収証を当日受付提出し押印を受け
てください。**
- 申込受付期間 令和4年 6月 1日受付開始(先着順) 令和4年6月30日10時締切(必着)
※期間外の申し込みは受け付けません
- 認定試験の受験申込
件名を「●●月認定試験受験申込み」とし、taikai.fpa@gmail.comまでメールで申し込みください。
本文入力内容
1:住所および氏名(フリガナ)
2:連絡先電話番号
3:受験内容(個人利用許可申請と入力ください)
4:弓種と受験回数
- その他 役員は準備のため午前7時30分にお越し下さい。
大会運営に支障をきたす参加者(認定試験受験者含む)は退場していただく場合があります。
- 感染対策 **新型コロナウイルス感染対策として以下のことを徹底します(スタッフ含)**
※県より大会開催の自粛要請または緊急事態宣言の発出があった場合は開催を中止する場合があります。
※別添ガイドラインおよび体調管理チェックシート1の回収による感染防止対策を徹底します。
※無観客としますので監督、コーチ、選手、競技役員以外は会場には入れません。
※当日の更衣室の利用はお控えください。
※雨天時の更衣室の利用は、着替えのみとし、2名以内で交代利用をお願いします。

-----キリトリ-----

領収証

様

金 円

ただし、参加費として

令和 年 月 日

福井県アーチェリー協会
会長 畑 孝幸

1 基本的な考え方

- (1) 参加者（選手・監督・役員等）の健康と安全を最優先に考えて対応する。
- (2) 無観客試合とする。
- (3) 大会運営に際して守る事項をまとめ、守れない参加者については参加取消とする。
- (4) 選手はシューティングライン上で原則0.9m以上の間隔をとる。
- (5) 弁当配布は行わない。（北信越国体を除く）
- (6) 受付は団体代表者による受付とし行列の発生を抑える。
- (7) 大会ではすべての参加者が体調管理チェックシート1および2による体調管理を行う。
- (8) 大会事務局内に感染対策担当者を用意し、感染対策及び各団体との連携を密に行う

2 全ての練習会・大会における参加者に守っていただく内容

- (1) 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる。
 - ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- (2) マスクを持参する（受付時、競技中以外で会話の際にはマスクを着用する）。
- (3) 石鹸での手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- (4) 他の参加者、スタッフ等との距離（できるだけ1m以上）を確保する。
- (5) 競技中に大きな声で会話等をしない。
- (6) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置、指示に従う。
- (7) 終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

3 競技会時の対応

- (1) 受付に消毒液を設置するので手指の消毒をする。
- (2) シューティングライン上で1人当たり原則0.9m以上の間隔を確保できるようにする。
- (3) 受付時にすべての参加者から別紙体調管理チェックシート1の提出を求める。
※体調管理チェックシートは必ず署名すること。
- (4) 参加者がマスクを準備していることを確認する。
- (5) 配布物（スコアシート等）はテーブルに並べ、選手に自分で取ってもらう。
- (6) 開会式を行う場合は、参加者は互いに1m以上の距離をとって整列する。
- (7) 閉会式・表彰式を行う場合は、役員および表彰対象者のみ参加し距離をとって整列する。
- (8) 競技中
 - ・役員、審判は、常時マスクを着用する。
 - ・採点中は選手もマスクを着用し、互いに適切な距離を確保するように意識する。
 - ・矢取りは交代しながら自分の矢のみを抜く。
 - ・審判員が矢の判定で呼ばれたときは、選手を標的から遠ざけて安全な距離を確保する。
- (9) 競技終了後は、体調管理チェックシート2による自己体調管理を行う。

4 アーチェリーセンター来訪者の基本原則

- (1) 体調不良時は建屋内含めアーチェリーセンターへの来館を控える。
- (2) 施設内表示のレイアウトに従い、関係者以外はアーチェリー場内へ立入らない。

5 感染症対策における書類管理

- 全選手および大会役員は受付時に別添体調管理チェックシート1を必ず提出する。
(高校生以下の選手は、顧問もしくは引率責任者が団体用チェックシートをあわせて提出。)
- 大会参加者全てにおいて大会終了後に体調管理チェックシート2による体調管理を行う。
(感染が疑われた場合速やかに同シートを関係機関に提出する。)
- 提出されたチェックシート1は2週間保管いたします。
- 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに濃厚接触者の有無等について保健所等保健衛生機関へ連絡するとともに下記へ報告すること。

新型コロナ感染時主催者緊急連絡先

福井県アーチェリー協会 事務局

j i m u k y o k u . f p a @ g m a i l . c o m

福井県アーチェリー協会

【大会前／提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート

本チェックシートは各種大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。本チェックシートに記入いただいた個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、来場可否の判断および必要なご連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除きご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、参加選手を含む大会関係者に大会開催後14日間で感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

※大会1週間前から記入し、大会当日、主催者の指示に従い指定の場所に提出すること

※該当しない場合は✓を入れ、該当する場合は○を記入すること（体温は0.1℃単位の数字を記入）

※チェックリストに1か所でも該当する場合や体温が37.5℃以上ある場合は、出場を見合わせて頂く場合があります

No.	チェックリスト	/	/	/	/	/	/	/	大会 当日
1	のどの痛みがある								
2	咳（せき）が出る								
3	痰（たん）がでたり、からんだりする								
4	鼻水（はなみず）、鼻づまりがある ※アレルギーを除く								
5	頭が痛い								
6	体のだるさなどがある								
7	発熱の症状がある								
8	息苦しさがある								
9	味覚異常(味がしない)								
10	嗅覚異常(匂いがしない)								
11	体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃

氏名 _____

所属（学校名など） _____

※参加者が未成年の場合

連絡先（電話番号） _____

保護者氏名 _____

福井県アーチェリー協会

【大会後／個人管理用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート

※大会終了後2週間は健康チェックをすること。

※該当しない場合は✓を入れ、該当する場合は○を記入すること（体温0.1℃単位の数字を記入）

No.	チェックリスト	大会 翌日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
1	のどの痛みがある															
2	咳（せき）が出る															
3	痰（たん）がでたり、からんだりする															
4	鼻水、鼻づまりがある ※アレルギーを除く															
5	頭が痛い															
6	体のだるさなどがある															
7	発熱の症状がある															
8	息苦しさがある															
9	味覚異常(味がしない)															
10	嗅覚異常(匂いがしない)															
11	体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃

※症状が4日以上続く場合は必ず最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告してください。

※症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに報告してください。

※保健所、医師会、診療所等に相談後、必ず大会主催者に報告してください。